

本日の研修会の感想（自由記載）

- ・ 実演で直接勉強ができたこと、他の施設の方と実際に交流し情報交換ができたことがよかったです。  
今後も参加させていただきます。  
ありがとうございました。
- ・ 施設ごとの集まりがあまり無く今回は情報共有ができたり、顔合わせができたことは有意義だったと思います。  
同法人の参加が多かったように思い、参加の無かった他の施設が気になりました。
- ・ 以前に比べ救急車を呼ぶ回数が増えたので、119番通報のマニュアルは出来ているが、救急情報提供書が事前に記入出来ていると良いと思った。グループ内の施設では、コピーして救急隊員に渡している施設もあり参考になった。
- ・ 医療連携の重要性は十分理解できた。ただ、折角グループワークを行うのであれば、同じ施設形態のグループにした方がより議論が深まったと思う(今日の内容であれば)。
- ・ 急変時に落ち着いて対応できるように、日々の情報を職員間で共有する事や、医療機関との連携が円滑に図れるよう必要な情報をしっかりと伝えられるようにする事の大切さが理解できました。
- ・ 施設でも在宅でも対応の仕方は違っても緊急時の抱えている課題や悩みは同じなんだと感じました。  
緊急時は冷静かつ適切な対応ができるかが大切だと思います。  
看取りの対応の経験がない職員もいるので今回のような研修に参加してもらえればと思います。
- ・ 大切なことだと思いました！  
でも、次のような点で、改善を期待しておりますが、期待を満たすものではありませんでした。  
施設では夜間の人員体制は日中の4分の1以下になります。ただでさえ、手薄になるところに救急搬送時に職員が乗ると残された介護者の負担が並々ならぬものになります。利用者の安全確保も難しくなります。  
家族が同乗することが出来ればよいのですが、独居であったり、高齢世帯であったりと、家族の協力は難しくなっております。普段の様子を医療機関と共有する等、急搬時の情報共有の在り方を工夫することにより、救急車への同乗を求めなくても済む体制を作ることは、今後独居の方や家族が遠方にいるような在宅の高齢者にとっても必要なことではないかとおもいます。  
既に、福井県勝山市ではドクターメイトの代行サービスを利用している6施設を対象として、夜間に入居者を搬送する場合に施設職員の同乗を求めない運用が始まっているそうです。  
行田市でも施設の職員が過酷な勤務から解放する取組みとして医療機関や消防のご理解を頂けるような体制づくりに取り組めればと切に思いました。
- ・ 次回は今後のため別のスタッフを参加させてよりよい施設にしていきたいです。みなさんご苦勞様でした。
- ・ 色々な職種との連携が必要だと改めて感じた。  
職員の意識を統一すること、その為に研修を積極的に行っていく事も必要だと感じた。
- ・ 私たち管理側が現場に対して課題や対策をわかりやすく伝えること、共に考えること、継続して取組む必要があることを再認識した。